

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県立かながわ労働プラザ		
所在地	横浜市中区寿町1-4		
サイトURL	https://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/l-plaza/		
根拠条例	神奈川県立かながわ労働プラザ条例		
設置目的(設置時期)	労働者の福祉の増進を図り、文化活動の場を提供する。 (平成7年10月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県労働福祉協会		
指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31 (2016年) (2021年)	施設所管課 (事務所)	雇用労政課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況C評価、利用者の満足度S評価、収支状況C評価、であったため、3項目評価はC評価となった。 C評価となった要因は、いずれも新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための事業の中止にあるが、今後はウィズコロナの考え方のもと、感染防止対策を実施したうえで通常業務への回復に努めてもらいたい。 利用者数について、実績の3箇年とも目標の達成には至らなかった。 引き続き経費の節減と自主事業収入の増を含めた収入の増を目指し、各施設の利用率向上に向けた広報等を強化する必要がある。 経費節減の努力や工夫を凝らした講座の実施、利用者からの要望を踏まえた施設管理は評価することができ、利用者の満足度は非常に高くなっている。 今後も利用者サービスの観点を重視し、利用者数等の高い目標をクリアするよう期待したい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 毎月1回「プラザ施設維持管理推進会議」を開催し、適切で効率的な運営を行っている。 利用者本位の取組や地域との連携、事故防止等に積極的に取り組んでいる。 自主事業についても、利用者のニーズを考慮した多様な講座を開催した。</p> <p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止したことにより利用者数が減少し目標達成率は77.1%となったため、利用状況評価はCとした。利用者ニーズに即した施設整備やきめ細やかな接客サービス、利用者を広げるための積極的な広報活動に取り組んでいるが、提案書に掲げた高い目標をクリアしてはいないため、利用率向上のための更なる対応が求められる。</p> <p>◆利用者の満足度 年2回実施した満足度調査では、「大変満足」「満足」と回答した割合が90%以上であったためS評価とした。</p> <p>◆収支状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業を中止したことにより利用料金収入が減収となり、マイナス収支の縮減率が△437.01%となったためC評価となった。 自主事業を除く収支でマイナスになる傾向であるため、更なる利用料金収入の増のため、各施設の利用率を上げる取組が求められる。</p> <p>◆苦情・要望等 トラブル等が起きやすい受付職員・駐車場職員の対応・説明についての苦情はなく、満足度調査における「大変満足」「満足」と回答した割合が90%以上となっている。</p> <p>◆事故・不祥事等 事故・不祥事等はなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査及び労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 引き続き経費節減や自主事業収入増に向けた取組を行うとともに、利用者の要望を踏まえた施設運営による利用拡大に努めていただきたい。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
C	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回1時間程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持管理について 施設・設備を適切に管理し、利用者の利便性をより向上させるため、施設設備等維持管理年間計画に基づき、計画的な維持管理に努める。	かながわ労働プラザ職員及び労働福祉協会職員、委託業者、かながわ労働センター職員で構成する「プラザ施設維持管理推進会議」を毎月1回開催し、必要な情報の共有化を図り、効率的な施設維持管理に努めた。	
戦略的広報・PR等の展開 さらなる利用者増・利用者サービスの向上を目指して、必要な取組を行う。	インターネット検索の検索率の向上に努めた。 タウン誌を活用し、講座やイベント情報の周知を図った。 各種媒体を活用して施設利用や講座の案内を発信し、利用率の向上を図った。 グーグルインドアビューを駆使した会議室等の案内を、ホームページで展開した。 施設の案内や自主事業の紹介、サービスプラン等を掲載した「プラザ通信」を年3回発刊した。	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
講座等の開催 文化教養・労働・生活・健康・資格取得の5つをキーワードに、年20講座以上を開催する。	年間24講座を開催し、619名（延べ5,728名）に受講いただいた。
利用者団体の活動の発表の場や、サークルによる体験教室や作品展示の機会、また地域との交流の場として「第14回プラザフェスタ」を開催する。	令和2年2月29日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度 (予測値試算)	令和元年度
利用者数※	394,808	335,084	331,440
対前年度比		84.9%	98.9%
目標値	430,000	391,300	430,000
目標達成率	91.8%	85.6%	77.1%

目標値の設定根拠：

提案書

利用者数の算出方法（対象）：

利用申込書に記載された人数

※前年度

空調設備更新工事の影響による利用者数の減少分（予測値）を反映させた人数を目標値として試算した目標達成率は85.6%となり、評価としてはBとなる。

※令和元年度

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための事業の中止の影響により、利用者数が減少した。

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年 2 回	6～7月、3～4月に実施。 「大変満足」「満足」との回答が90%以上を占め、利用者の満足度は高い。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設を利用した全般的なサービスの満足度について

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 252 / 378 = 66.7%

配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	37	80.5	1.5	0	119	利用者ニーズに即した施設整備や、きめ細やかな接客サービスの提供に努めたことが評価されたものと推測される。
回答率	31.1%	67.6%	1.3%	0.0%		
前年度の回答数	47.5	92.5	2	0	142	
前年度回答率	33.5%	65.1%	1.4%	0.0%		
回答率の対前年度比	93.0%	103.8%	89.5%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：マイナスの施設が該当 (収支差額の当初予算額－収支差額の決算額)／収支差額の当初予算額の比率 (マイナス収支の縮減率) が S (優良)：5%以上 A (良好)：0%～5%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：-15%～0%未満 C (収支差額の決算額の削減額が当初予算の85%未満)：-15%未満
C	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計		支出	収支差額
前々 年度	当初 予算	0	92,828	53,331	負担金収入 52,743 雑収入 588	146,159	147,953	-1,794	
	決算	0	83,179	55,620	負担金収入 54,596 雑収入 1,024	138,799	139,281	-482	73.13%
前年 度	当初 予算	0	86,360	55,534	負担金収入 54,946 雑収入 588	141,894	143,191	-1,297	
	決算	7,852	73,393	56,563	負担金収入 55,557 雑収入 1,005	137,808	136,463	1,345	203.70%
令和元 年度	当初 予算	0	86,360	55,534	負担金収入 54,946 雑収入 588	141,894	143,191	-1,297	
	決算	0	76,546	55,953	負担金収入 54,932 雑収入 1,021	132,499	139,464	-6,965	-437.01%

※収支差額の当初予算額－収支差額の決算額/収支差額の当初予算額

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和元年度 / 0 前年度 / 0 前々年度 / 2,700

<備考>

令和元年度：
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業を中止したことに対し、県は納付金（2,725千円）を免除する対応をとった。
平成30年度：
空調設備更新工事に伴う利用料金収入の減に相当する額について、県は納付金（2,700千円）を免除し、さらに指定管理料を支払う対応をとった。

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	プラザ運営委員会 1 件	利用者から、マイクや音楽スタジオのアンプに不具合があるという意見が寄せられている。	指定管理者がすぐに修理等を行った。
	プラザ運営委員会 1 件	利用者から、照明が暗いという意見が寄せられている。	多目的ホールの照明器具について、令和元年度に県が改修工事を実施した。
職員対応	件		
事業内容	件		
その他	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。